

## 横浜災害ボランティアネットワーク会議

平成 30 年度 第 2 回運営委員会について報告します。

日 時	平成 30 年 5 月 18 日(金) 18 : 30~20 : 55
会 場	横浜市健康福祉総合センター 8 階 8F 会議室
参加者	鶴見区災害ボランティアネットワーク：河西（運営委員長） ガールスカウト横浜市連絡協議会：外山 ボーイスカウト横浜市連合会：宮崎 港南区災害ボランティアネットワーク：井出 磯子区災害ボランティアネットワーク：小原 金沢区災害ボランティアネットワーク：深浦 とつか災害救援活動ネットワーク：宮川 泉区災害ボランティア連絡会：乾 オブザーバー：横浜市市民局市民活動支援課 西島係長・清見 事務局：横浜市ボランティアセンター 若林・別田・田村

### ■議題

#### 議題 1 平成 30 年度総会及び会員向け研修会について

資料 1 に基づき事務局より説明。（資料修正あり）

- ・運営委員の任期と役員任期が切れる年度のため、総会に諮る。
- ・事業報告で、特別会計要綱を配布する予定。
- ・議長は行政区順で、磯子区社協の局長に依頼済み。
- ・監査の日程は 5 月 30 日に実施予定しており、事務局で対応する。

意 見：研修会のタイトルは修正したほうがよい。

新：『横浜市防災計画「震災対策編」の修正について』

事務局：会員には通知済みのため、当日の資料を修正。

#### 議題 2 平成 29 年度事業報告及び平成 29 年度決算について

資料に基づき事務局より説明。

意 見：県災ボラの運営委員会の内容を加えた方がよい。

意 見：繰越金があるので、どのようにするか質問があった際に答えられるようにしたほうがよい。

意 見：例えば、繰越金のうち 30 万円を次年度以降に特別会計に計上するなど、提案できる形にしておくほうがよい。

意 見：会費を支払っていない会員についても掘り起こしをしたほうがよい。

事務局：次回以降、運営委員にどの団体が支払っていないか確認していただく。

意見：寄付金の関係は規程上の名称で統一したほうがよい。

意見：講師から開催通知の写しがほしいと言われている。→データでお渡す。

(※議題の順番を変更)

議題5 平成30年度事業計画及び平成30年度予算について

資料に基づき説明

意見：第2版マニュアルを修正しているので、名称はこのままだが、口頭で説明したほうがよい。

意見：市域団体との連携は、単なる情報交換をする目的ではない旨の記載が必要。

「広報・情報提供事業」に関する協定書の(案)について

西島係長より資料に基づき説明

経費分担は事業内容の広報紙発行と情報提供の折半という形。市予算も厳しい現状ではあるが、災ボラの予算は現状維持。災ボラネットワークの予算も繰越金があるので、なるべく実情に合わせた予算に近い形にしてほしい。88千円を限度に締結したいと思っている。ここには記載はないが、研修会の講師謝金を一部負担している。

議題3 運営委員の任期について

意見：運営委員への意向確認ではなく、就任依頼にしたほうがよい。

意見：現運営委員及び会員全体に送付する。文面は統一。

意見：運営委員長名で内容も是非参加して欲しいと呼び掛ける内容にする。

意見：代理出席可能の文言を入れたほうがよい。

意見：運営委員の議事録はどのように会員に送っているのか？

→HP上で公開している。個別に会員への郵送等はしていない。

議題4 役員改選について

・幹事は2年に一度の持ち回り。次年度はサービス協会と青葉区社協の予定。

・代表1名と副代表2名と運営委員長。

意見：立候補を募り、誰も立候補しない場合、代案をもとめられる。

意見：代案を事務局が説明するのはおかしい。

意見：運営委員として発言するのが望ましい。

意見：現運営委員が提案するとすれば、代表に河西委員、副代表に外山委員、乾委員を推薦するのでよいと思う。

意見：運営委員を先に決める形でよいのではないか。

6 その他（情報共有がある場合のみ）

（とつか災害救援ボランティアネットワーク）

宮川：5月12日に防災ギャザリングを実施し、参加者が550名。市（市民局や神奈川区役所、消防関係）の共催や協力をもらい、自衛隊も協力してくれた。5月13日のカナロコにも掲載。災ボラの中でも戸塚・南・磯子・西が出展していた。

次回：7月18日（水）18時30分～ 9階904